# １年生代表生徒の言葉

例年より短い夏休みを終え、猛暑の中、始まった２学期。私たちにとっては、待ちに待った校外学習からのスタートでした。

校外学習では、高尾の森わくわくビレッジ館内での謎解きオリエンテーリングやクラス対抗ドッジビー大会を通して、仲間との親睦を深めました。初めての行事で不安もありましたが、たとえマスクをしていても一緒に過ごした時間はかけがえのないものとなりました。

次は陸体です。小学校の時とは違い、広く美しい競技場に感動したのを覚えています。特に印象に残っているのは全員リレーです。私のクラスは本番前にケガ人が続出してしまったのですが、走る人と応援する人が一つになり、全員でクラスの目標を達成することができました。また、２年生、３年生の先輩方の活躍を見て、私たちもこんな風になりたいと思い、とても憧れました。

最後は先週行われたマラソン大会についてです。４キロもの距離を走るのは、多くの１年生にとって初めての経験でした。体育の授業や朝練で少しずつ体を慣らし、本番では参加した１年生全員が無事完走できました。競技以外でも、全校生徒が学年・性別関係なく、一生懸命応援する姿を見て、六中の素晴らしさを改めて実感することができました。

このように、コロナ禍においても、たくさんのことを経験でき、充実した２学期を過ごすことができました。何より、１学期のように自粛することなく、毎日登校できたこと、友だちと笑って過ごせたことが、私にとって一番の幸せでした。